

**週刊 日本共産党 市議会報告**

2014年8月4日第 1298号  
【発行】  
日本共産党浦安市議団  
市役所内控え室(議会棟1階)  
☎&FAX (350)1243



子育ても老後も安心  
住み続けたい浦安を



市議会議員  
元 木美奈子

入船 4-37-14  
☎355-8526  
minamonton@  
jcom.home.ne.jp



市議会議員  
美崎 麻里

北栄 2-3-16-203  
☎354-9269  
m5mise@jcom.  
home.ne.jp



オープンします！  
**若者向け 「就職相談」 スペース**



相談・支援業務は、厚労省から認定された「いちかわ・うらやす若者サポートステーション」(愛称: サポステ)が担当します。  
働くことに悩みを抱えている若者に対し、キャリア・コンサルタントなどによる専門的な相談、コミュニケーション訓練、協力企業での職場体験などによる支援を行います。  
しかし、いつでも気軽に相談できるわけではなく予約が必要です。  
日本共産党はこれを今後、常設機関とするよう働きかけしていきます。

新浦安駅前の浦安市地域職業相談室「内」に、ついに今年4月から、若者向けの就職相談スペースがオープンしています。  
日本共産党は、自治体レベルでも雇用問題で取り組むべきことがあると指摘し、浦安市が若者の就労支援を行うよう繰り返し浦安市議会で求めてきました。  
日本共産党のこの提案が一歩前進し具体化されましたので、ご紹介します。

場所：ショッパーズプラザ新浦安4階  
市民プラザWave101  
「浦安地域職業相談室」内

毎月第2・4金曜日 完全予約制  
10:00~17:00 ☎047-395-3053

**日本共産党 粘り強く提案**

平成16年9月議会  
◇15歳から34歳までの5人に1人が不安定雇用を余儀なくされていると指摘し、市として若者の就労支援を実施するよう求めた。  
◇青少年センターで相談事業を実施してはどうかと提案  
平成17年9月議会  
◇「完全失業者の50%が15歳から34歳までの若者、このうちの7割が正社員になることを望んでいる」とデータを示し、市内の企業に対して、浦安市が正規雇用の拡大を働きかけるよう提案した。

日本共産党  
第41回

**赤旗まつり**

11月1・2・3日(土日月)  
夢の島公園(東京都江東区)



参加券  
前売り

一般：2,500円  
割引：2,000円  
(中高学生、70歳以上)

◇船橋駅前の「ジューブカフェちば」を例に挙げて、面接対策、履歴書の書き方、適性診断などきめ細かな支援に市が踏み切るよう求めた。

平成18年12月議会

◇仕事を見つけることが難しく、一時的に仕事につくまでフリーターとして働く若者も少なくない。若者に個別に就労を支援する「ジョブカフェ」を新浦安駅前の行政サービスセンターの跡に設置するよう提案。

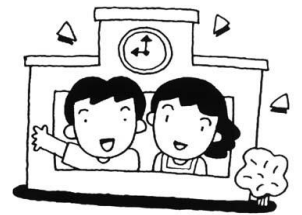
平成21年6月議会

◇長野県須坂市を視察して、事務的に職業紹介をする機関ではなく、親身に話を聞き、人生相談所の役割を果たしていることを紹介し、市として若者の就業的な自立を支援する就労支援センターを設置するよう提案。

平成25年12月議会

◇市内のニートや引きこもりの実態把握と対策を要求。  
◇いちかわ・うらやす若者サポートステーションとの連携による支援の促進を要求。

# 本当の少人数数学級を 学校現場でも増えている非正規雇用



浦安市は2000年度以来、市独自の「少人数教育」を実施しています。これは、松崎市長が初めての選挙公約としたことによるものです。

しかし、これは実際には一学級の規模を25人とするものではなく、「少人数での学習集団（25人程度）の編成ができるようすること」を一つの目標にし、市独自で非常勤の教員を雇用し、全部の小中学校に派遣する」というものになりました。

## 市費で 退職者8人を雇用

市独自に採用された教員は、「少人数推進教員」と呼ばれ、教職経験者や教員免許状を持つ人を1年の雇用期間で非常勤講師として採用してきました。勤務時間は7時間半とされているにもかかわらず、部活動指導などで拘束時間は正規教員と変わらないサービス残業のような働き方なども課題とされてきました。

ところが、この「少人数推進

教員」を採用したくても、最近では確保できず、教育委員会の深刻な悩みになっています。

そのため、浦安市は、「退職教員の豊かな経験を学校現場で活かせるよう、従来の少人数推進教員と同じ条件で雇用した」などとして、今年度は市費で8名の退職者を再任用し、「少人数推進教員」としたことを明らかにしました。

## 欧米の学級規模は 30人以下が当たり前

学級規模が小さくなれば、子ども一人ひとりの学習のつまづきをていねいに指導することができ、一人ひとりの授業中の発言の機会も多くなります。また、討論や実験などをつうじて物事を深く理解するという、今日求められている学習をすすめるうえでも、少人数学級は欠かせない条件です。欧米では1学級30人以下が当たり前です。アメリカは小学校低学年で24人、イギリスは小学校低学年で30人、フィンランドは全学年で基本的に24人以下とされています。

本来の少人数教育の実施を浦安市は国にはたらかさけるべきではないでしょうか。

《お知らせ》週刊市議会報告は、8月10日号、8月18日号を休刊とさせていただきます。暑い毎日が続いています。熱中症などに気をつけて毎日をお過ごしください。